

それぞれの地域に固有の歴史を背景に「衝突」と「対話」を繰り返す「文明」——その歴史と現況に即して文明・文化の諸相を「総合科学」の手法を用いて解明する部門です。
地域を超える文明・文化の諸相と動態、並びに文化間の比較を研究課題とする文明史基礎研究と、地域に固有の文化的特性に焦点を合わせ、広く地域文化を探究する地域研究の2領域から構成され、人類の知的遺産をいかに伝えるべきかを追求します。

文明史基礎研究領域 *Cultural and Historical Studies*

「文明」とは何でしょうか？ 何によって構成されているのでしょうか？ 民族、ジェンダー、宗教、科学・技術、芸術、物質的生活様式から人間諸集団がもつ特有の文化的価値体系、慣習まで……きわめて多様な要素をそこに発見することになるでしょう。また、グローバル化が進む今日、文明間の複雑な相互作用や文明内の対立関係も無視できません。さらに、それぞれの文明・文化には固有の歴史があり、現代のさまざまな課題もその歴史に深く根ざしたかたちで発生していることに着目すれば、「文明史」はすぐれて現代的な課題をとりあつかう知の領域ということになります。この領域では、多角的な視点から、「文明」のあり方を解明します。



ミャンマー連邦共和国南部シャン州、インダー族の水上マーケット



台湾彰化八卦山の
大仏と石獅子

地域研究領域 *Area Studies*

この領域では、研究対象となるエリアを想定した「広域アジア研究」「広域ヨーロッパ研究」「英米研究」の3分野を設定しています。それぞれの分野に属する研究者の学問領域は、歴史・社会・政治・思想・文化・民俗・文学など豊かで多様です。現在の諸問題に適切に対応するためには、それぞれの地域が歩んできた歴史と培ってきた文化への真摯な見識、さらには、将来を見通す洞察力が求められています。そのような時代の要請に応えるべく、この領域では、研究対象とするそれぞれの地域を基盤としながら、地域間の関係や比較に関する研究も視野にいれ、豊かで多様な視座をもつ総合的な地域研究に取り組んでいます。

学生による創造的研究活動への支援

- 本研究科で独自に行っている支援
 - ・学生の国際学会発表支援
海外での国際会議等で発表するための交通費、宿泊費を支援します。
 - ・学生独自研究プロジェクト支援
学生主導によって行われる、異分野融合型プロジェクトを推進するための研究費を支援します。
 - 本学で行っている支援
 - ・海外・国内インターンシップへの派遣
 - ・広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ（成績優秀学生奨学制度）
 - ・授業料免除制度
 - ・入学料免除・入学料徴収猶予制度
- ※詳細は本学HPをご確認ください。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/>



国際交流

広島大学には、世界74カ国から来学した1950人の留学生が学んでいます。このうち、総合科学研究科に129名（大学院生90名、研究生39名）、総合科学部に50名（学部生10名、研究生1名、特別聴講学生39名）の留学生が在籍し勉学や研究に励んでいます。総合科学研究科では台湾・輔仁大学外国語学部等と部局間協定を結んでいます。

[平成30年11月現在]

